

2016 ぎふタッチラグビー競技規則

【ルール概要】

タッチラグビーとは、1 チーム 6 人がグラウンドに出て、攻守交代を繰り返しながら相手チーム陣地奥にあるトライゾーンにボールをトライし、得点を競うスポーツである。ボールを持ったプレーヤーは自分より後ろの選手にボールをパスしながら、相手チームに 5 回タッチされない間にトライをすると得点になる。ミスをしたり、相手チームに 5 回タッチされると攻守交代となる。

【チーム人数・出場登録選手】

フィールドに立てるのは 6 人である。選手の交代はいつでも何度でも可能である。

【得点】

相手陣地を区切るスコアライン上、またはスコアゾーン内の地面にボールを付けるとトライとなり 1 点が入る。ハーフ(※)も得点することが出来る。

※ハーフ・・・プレー再開時にボールを保持するプレーヤー

【プレーの再開】・・・タップ（反則後）

地面にボールを置いて、足でボールを転がす（以下「タップ」という。）ことによってプレーを再開します。試合開始時や相手に得点された後のプレー再開、また相手側のペナルティによってプレーが中断したときの再開方法として用いられます。

相手プレーヤーはタップ地点より 5 メートル下がっていなければなりません。タップ後のボールはハーフがそのまま持って走るか、味方にパスすることによりプレーされます。

1. ノックオン（ボールを前に落とす）
2. フォワード・パス(前方にボールをパスする)
3. オフサイド(守備側チームのプレーヤーが、5m 以上後退しないで、攻撃側チームのプレーヤーに働きかける)
4. 遅滞プレー(ゲームの進行を妨げる行為をする)
5. 7 人以上のプレーヤーが同時にグラウンド内に入る
6. クレームド・タッチ(タッチしていないのにタッチしたと主張)
7. ハードタッチ（力まかせにタッチする）

【攻撃の再開方法】・・・ロールボール（攻撃権喪失後）

タッチされた地点または相手から攻撃権を得た地点にボールを置くこと。置かれたボールをタッチされたプレーヤー以外の味方プレーヤー（ハーフ）がそのまま持って走るか、味方にパスすることによりプレーされます。

タッチされた後に攻撃を持続する場合、あるいは相手のミスなどにより攻撃権を得たとき、プレーを始める方法として用いられます。

1. 5 回目のタッチが行われた場合
2. ボールを持っているプレーヤーがグラウンド外に出たり、サイドラインを踏んだ場合

【オフサイド】

タップ、ロールボールが行われるとき、防御側プレーヤーは 5m 以上下がっていなければなりません

【これに反すると「オフサイド」のペナルティが課されます。】